

科目	機械力学I (Dynamics of Machinery I)		
担当教員	尾崎 純一 准教授		
対象学年等	機械工学科・4年C組・前期・必修・1単位(学修単位I)		
学習・教育目標	A2(20%) A4-M3(60%) A4-M4(20%)	JABEE基準1(1)	(c),(d)1,(d)2-a,(d)2-d,(g)
授業の概要と方針	工業力学(3年)に引き続いて動力学と振動の基礎について学習するとともに、今後、機械工学を学ぶ上で必要となる力学の基礎について理解を深める。		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	【A2】運動量、力積の概念を理解し基本的な問題を解くことができる。		運動量と力積の概念を理解したかどうか中間試験、定期試験、小テスト、課題で評価する。
2	【A2】運動量保存則を理解し基本的な問題を解くことができる。		運動量保存則が理解出来たかどうか中間試験、定期試験、小テスト、課題で評価する。
3	【A4-M3】振動の基本的事項を理解し、基本的な問題を解くことができる。		振動の基本的事項である周期、振動数、固有振動数を理解出来たかどうか中間試験、定期試験、小テスト、課題で評価する。
4	【A4-M4】簡単な衝突の現象を理解し基本的な問題を解くことができる。		衝突の現象を理解出来たかどうか中間試験、定期試験、小テスト、課題で評価する。
5	【A4-M4】工業力学全般について基本的事項を理解し、簡単な問題を解くことができる。		工業力学全般について基本的事項を理解し、簡単な問題を解くことができるかどうか中間試験、定期試験、小テスト、課題で評価する。
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は、試験70%、レポート20%、小テスト10%として評価する。試験成績は中間試験と定期試験の平均点とする。100点満点で60点以上を合格とする。		
テキスト	「詳解 工業力学」：入江敏博著(理工学社)		
参考書	「工業力学」：青木弘・木谷晋著(森北出版) 「工業力学」：吉村靖夫・米内山誠著(コロナ社) 「ポイントを学ぶ工業力学」：鈴木浩平・真鍋健一編(丸善) 「工業力学入門」：伊藤勝悦著(森北出版) 「ビジュアルアプローチ 力学」：為近和彦著(森北出版)		
関連科目	工業力学(3年)		
履修上の注意事項	本授業は3年で学習する工業力学の続きであるため、3年で学んだ内容をしっかり復習して理解しておくこと。		

